

令和7年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒ふるさとミュージアム					
所在地	生駒市山崎町11番7号					
指定管理者名	株式会社 地域文化財研究所	指定期間	開始日	令和	5 年	4 月 1 日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和	10 年	3 月 31 日
選定方法	公募	評価実施年	指定期間	5 年のうち 3 年目		
設置目的	生駒の歴史を標榜し、市民の皆さまが過去・現在の生駒を思い、未来の都市像を予測して頂くための施設の設立					
主な実施事業等	常設展示、企画展示、特別展示、体験型普及啓発事業、講座、講演会、資料の収集・保存・調査・研究・教育普及等					

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
来館者数 大人	人	-	4,622人	-533	
来館者数 子ども	人	-	1,995人	-362	
来館者数 合計	人	9,000人以上	6,617人	-895	
館外事業参加者数	人	800人以上	672人	-78	
多目的室利用	件	300件以上	156件	-79	

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考) 前年度実績
収入計	A	29,445,000	29,637,010	29,312,260
指定管理料		27,970,000	27,970,000	27,970,000
利用料金収入	C	185,000	130,520	109,410
自主事業収入		860,000	1,068,190	868,520
その他		430,000	468,300	364,330
支出計	B	29,280,000	28,642,356	28,683,411
指定事業費		28,585,000	27,868,588	27,999,275
うち人件費	D	12,300,000	12,270,228	12,186,094
うち再委託料	E	3,462,000	3,427,556	3,435,256
自主事業費		695,000	773,768	684,136
事業収支	A-B	165,000	994,654	628,849
利用料金比率	C/A	0.6%	0.4%	0.4%
人件費比率	D/B	42.0%	42.8%	42.5%
再委託費比率	E/B	11.8%	12.0%	12.0%
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	(利用者アンケート) 意見箱の設置・その他()
実施結果	意見内容等		対応実績等
	・生駒の城について展示が見たい。 ・生駒の都市の発展について知りたい。 ・勾玉の形を増やしてほしい。		・北田原城についての展示を行った。 ・生駒の都市開発に関する展示を行い、生駒市前副市長を講師として講演会を実施した。 ・夏休みに向けて、勾玉の形のバリエーションを増やした。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	「生駒ふるさとミュージアムの管理に関する基本協定書」、「生駒ふるさとミュージアム管理運営基本仕様書」、「生駒ふるさとミュージアム管理業務特記仕様書」に基づき、施設の維持管理を行いながら、施設の設置目的である生駒の歴史文化の普及に資する事業を実施している。また、専門業者による燻蒸作業を行い、古文書等の収蔵資料にかかる保存管理を行った。
市の評価	基本協定書、基本仕様書及び特記仕様書に基づき、登録有形文化財としての施設の維持管理と、歴史文化の発信拠点としての運営が行われている。年度計画とおりのテーマで事業や展示を開催し、当初計画とおりに管理運営を行ったことは評価できる。燻蒸作業においても年間計画に組み込み、適切に古文書等の収蔵資料の保存に務めている 毎月の月次報告において利用者に対するレファレンス内容の報告を受けており、判断に急ぐ場合は都度相談があり、対応の遅滞なく適切に対応できている。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	広報いこまちのほか、当館HPやX(旧Twitter)、Instagram、Facebook、LINE等の情報発信ツールを最大限活用し、イベントや講座の年齢層に適した告知を行った。また、夏休み前には勾玉のチラシを市内小学校全児童に配布し、より多くの来館に繋げる事ができた。
市の評価	夏休み前の市内小学校児童へのチラシ配布は直接的な来館促進へと繋がっており反響を得たことは評価できるが、次年度以降は教育総務課が定める原則に則し、保護者連絡システム「すぐる」を活用したデータ配信へと移行する必要がある。 広報いこまちの読者層以外の多様な世代にリーチするため令和5年度に開設した公式LINEアカウントの運用の更新頻度は増加傾向にあるが、新規登録促進活動が不十分なため、通常よりも来館者増加が見込めるようなイベントと絡める等、今後の登録促進を期待したい。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	来館者には通常アンケート、特別展・企画展観覧者、講演会受講者からの様々な意見・要望を取り入れるため、各種アンケートを行っている。令和7年度特別展「北田原城展」のアンケートでは県外からの来館者が28.1%と高く、来館者の地域に広がりが見られ、北田原城が広く関心を集めていることがうかがえた。企画展「生駒の都市開発」では初めての来館者が58.5%と高く、今回の企画展は常設展示とは異なる新規の利用者層の獲得に繋がった。今後も生駒市にとどまらず、県外の方々にも魅力を伝えられるよう、様々な意見を取り入れて展示を行っていききたい。
市の評価	アンケート取得促進計画を継続的にを行い、毎月行っている月次報告でもアンケートの振り返りとアンケート内容の精査等改善を持続的に行っていることは評価できる。実際にアンケートで収集したご意見から各種展示及びミュージアム講演会のテーマを決定する等、積極的に利用者の要望を取り入れることで、自己評価の記載にあるような数字の成果へと繋げることができている。 要望をすべて叶えるだけではなく、年間の運営計画に照らし合わせて、館としての目的の軸がずれないようにバランスの良い運用をお願いしたい。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	作業体験室や多目的室等の空調のこまめな調整、使用者のいない部屋やトイレの節電、温水機器の節電モードなどの日々の省エネ活動のほか、裏紙の再利用や古ファイルの再利用等、光熱水費・消耗品費の削減を積極的に行っている。
市の評価	今期の指定管理期間が開始した時には想像もできないような昨今の物価高や光熱費高騰への対策を実施できている。限られた予算の中での調整や経費削減を積極的に行っているが、利用者の満足度低下に繋がらないよう、経費削減だけではなく必要などころには経費を投じるなど、引き続きメリハリのある経費の執行をお願いしたい。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	物価高の影響で滑石等の材料費の値上がりが続き、やむを得ず勾玉づくりの料金も300円から400円に引き上げた。値上げによる影響はほとんどなく、ありがたいことに例年通り多くの利用があった。夏休みの勾玉づくりだけでなく、放課後デサービスや塾などの団体の受け入れも多くあった。今後も工夫しながら実施していきたい。
市の評価	

	事前相談のうえ、勾玉づくりの価格改定に踏み切ったが、体験の満足度が高いため影響を感じさせないところは高く評価できる。品質を維持すれば満足度も維持出来るという成功体験になったはずなので、他の事業や施策でも同じ目線で挑戦し、更なる収入増加に繋げていただきたい。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
	指定管理者による自己評価 館長を中心に定期的に館内ミーティングを行い、情報共有を図っている。学芸員のスキル向上のため、文化財の保護についての講習など、随時研修に参加している。広報活動については、広報いこまちやSNSに加え、新聞各社やメディアにも、市を通して記事の投げ込みを積極的に行った。7月26日には入館者数10万人のセレモニーがあり、記念品としてステンレスボトルとクリアファイルを製作、販売を行った。12月には昨年度できなかった餅つき大会を実施した。参加人数はやや少なかったものの近隣の方に多く参加していただいた。今後も地域の方が気軽に来館できるよう、様々なイベントを企画していきたい。
	市の評価 近年、館長を中心とした職員体制が固定化できており、副館長の入替わりの影響を感じさせない程引継ぎ体制は手厚く、大きなトラブルなく移行できたことは評価できる。月例で指摘のあった内容については即時情報共有が図れている様子が伺える。 令和7年度は注目度の高い展示も多く、新聞等県内主要メディアからのアプローチも多く、記事掲載翌日の来館者が増加する等、効果も感じる事ができた。県内メディア担当者の中にもミュージアムのファンが存在し、そこから派生する口コミも効果にも期待したい。 外部組織や市民との連携は、よりリアルで質の高い展示を行ううえで必要不可欠な要素であり、次年度以降も繋がりを大切にして欲しい。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
	指定管理者による自己評価 教育普及に関わる事業について、小学校3年生の出前授業は5校であった。「むかしの暮らし」の単元をもとに、各小学校の周辺地域の歴史についてお話しした。また当館所蔵の唐箕などの民具にも実際に触れてもらい、今と昔の生活を比較しながら説明を行った。中学校の職場体験では、生駒の歴史について学んでもらうため、昔の生駒駅周辺の写真を見てもらい、今の様子とどう変化したのか聞き取りも取り入れながら調査を行った。博物館実習では2校を受け入れ、博物館の運営や学芸員の資料研究・調査・展示について、学生同士のグループワークも含めながら理解を深めてもらった。今後も積極的に受け入れを行い、より多くの子どもたちや学生に生駒の歴史文化を知ってもらう機会を増やしていきたい。
	市の評価 出前授業はリピーターの学校も多く、各学区に沿った内容で授業を行うため、学校のニーズにも合致しており、出前授業報告書からは高い満足度が確認できる。実際の民具を持ち込んで本物に触れる機会をつくる等、工夫を凝らした内容を引き続き期待したい。中学校及び博物館実習においても、依頼があれば職員の出勤調整を行い、実現できるような環境を整える姿勢に敬意を表したい。ミュージアムへの来館増加が一番の目的ではあるが、外に出向いてファンを増やす活動も一つ一つ実績を重ね、結果的に来館へと繋げるような事業を期待したい。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
	指定管理者による自己評価 講座の申込等で収集した個人情報の取扱いなど、「個人情報の保護に関する法律(平成十五年法律第五十七号)の規定及び特記事項」を遵守し、業務を行っている。事故発生時の緊急連絡体制・事案については「危機管理マニュアル」に基づき、スタッフで共有し、避難訓練、生駒市のシェイクアウト訓練に参加し防災の意識を高め、有事に備えている。衛生管理については新型コロナの収束後も、引き続き手指消毒、履き終えたスリッパのアルコール消毒を継続して行い、来館者の安全に配慮した管理運営を行っている。
	市の評価 講座の申込等で収集した個人情報は必ず鍵の付いている場所に保管する等、取扱いは「個人情報の保護に関する法律(平成十五年法律第五十七号)の規定及び特記事項」を遵守した運営を確認しており、引き続き徹底した対応をお願いしたい。「危機管理マニュアル」の共有も本社・館内で定期的に行い、緊急連絡体制も月例報告時に毎回確認し、有事に備えられている。 維持管理に必要な各種点検を漏れなく実施されているとともに、感染症予防等の取組を継続するなど来館者の安全に配慮していることは評価できる。特に修繕の相談については、引き続き早めの相談・協議をお願いしたい。
サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
	指定管理者による自己評価 継続的な経費削減、事業内容に応じた参加費の設定等により、目標を上回る収入となった。今後も施設本来の目的達成に向け、安定的な運営と質の向上を図りながら、来館者から高い満足度を得られるよう努めたい。
	市の評価 令和6年度に引き続いて、令和7年度も目標を超える成果を達成できたことは評価したい。市内の郷土資料館だからこそできる地域に根付いた展示や事業の継続により既存ファンの固定化と、更なる収入増加と新たなファン層の獲得に期待したい。アンケートの評価は総じて高いため、慢心することなく継続的に高い満足度を目指した運営を続けていただきたい。

6 指定管理者の財務の状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
資産	26,198,232	25,188,601	23,125,764
流動資産	21,133,572	20,475,928	18,599,649
固定資産	5,064,660	4,712,673	4,526,115
負債	48,058,519	46,841,571	33,873,682
流動負債	10,718,519	10,085,571	8,701,682
固定負債	37,340,000	36,756,000	25,172,000
純資産	-21,860,287	-21,652,970	-10,747,918
資本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
売上高	87,077,602	89,947,850	105,967,241
経常利益	-8,199,589	484,856	11,190,420

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
自己資本比率 純資産/資産×100	-83.4%	-86.0%	-46.5%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	-219.8%	-216.3%	-315.2%
固定比率 固定資産/純資産×100	-23.2%	-21.8%	-42.1%
流動比率 流動資産/流動負債×100	197.2%	203.0%	213.7%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	32.7%	31.2%	31.4%
総資産回転率 売上高/資産×100	332.4%	357.1%	458.2%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	-31.3%	1.9%	48.4%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
アンケート結果から、企画展、特別展ともに満足度の高い充実した展示だったと自負している。特に特別展では市外や県外の来館者の割合が多く、城好きが多いことを実感した。市内の方にも新たに生駒の歴史を知ってもらえたのは良かった。特に新聞の掲載に効果があり、より多くの来館者に繋がった。今後も地域に根ざした展示に努めて参りたい。団体の勾玉づくりも好調で、月に一回以上のペースで受け入れを行った。市外からの団体も多く、口コミで広がっているのではないかと考えている。勾玉づくりをきっかけに、生駒の歴史文化を知ってもらえるよう引き続き工夫していきたい。
市の評価
3期目も折り返しである3年目を迎え、3期目だからこそできる継続的な取り組みや、適切な引継ぎ等、目的意識を持って運営していただいていることを高く評価したい。アンケート内容や、レファレンスの報告を見ても大きなクレーム等はなく、基本的な市内郷土資料館としての良質なサービスが提供できている様子は成果からも伺える。維持管理・企画運営・サービスと様々な面で計画通り行っていることが利用者の満足度に繋がっており、新しい取り組みを常に生み出す必要性ももちろん感じるが、サービスの質を維持することの重要性も証明できていると感じている。引き続きSNSの活用にはまだまだ課題を残すが、講座の参画者を見ても、年齢層に偏りがあるのは事実で、多世代の意見をどのように幅広く収集するか、職員一同で目的意識を持って取組の強化を進めて欲しい。 市との関係は良好で、小さなことでも迅速に相談があり、後手にまわるケースが皆無な点にはとても助かっている。引き続き、手堅い維持管理と、良質なサービスの提供をお願いしたい。